

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174360	観光ルート整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		20,440	20,770		330
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	20,440	20,770		330

特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯
二次交通の充実を通じ観光客の市内回遊性を高めることにより経済効果を発揮させる。

事業概要
○花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 9,100千円 花巻温泉郷が共同運行する、J R 新花巻駅～各温泉施設の無料送迎バスの運行支援
○観光客の二次交通運行支援 4,200千円 花巻温泉郷、宮沢賢治記念館等の主要観光地とJ R 新花巻駅、花巻駅をレトロジャンボタクシーで結ぶ「どんぐり号」「やまねこ号」の運行支援
○団体旅行貸切バスツアー運行支援 7,470千円 貸切バスを利用する市外及び海外からの団体ツアーに対し、バス1台あたり30,000円を補助

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況
宿泊施設より、団体バスツアーにおける助成制度の要望があった。

事業手法の詳細 1
<p>1. 花巻温泉郷共同送迎バス運行事業補助金 9,100千円 花巻温泉郷が共同運行する、J R 新花巻駅⇄各温泉施設の無料送迎バスの運行を支援 事業費の1/2を補助 花台協議会 2,900千円 花巻南温泉事業組合 6,200千円</p> <p>2. 観光ルート整備事業補助金 4,200千円 「どんぐり号」「やまねこ号」の運行支援 (市内の主な観光施設をレトロジャンボタクシーで巡るツアーの支援) ○期間 4月～3月 ○料金 3,000円~/人(施設入館料も含む) ○運行ルート(例) ・どんぐり号(午前) 花巻駅→花巻温泉郷→高村光太郎記念館→賢治生家→宮沢賢治記念館→新花巻駅 ・やまねこ号(午後) 新花巻駅→宮沢賢治記念館→宮沢賢治童話村→ワインシャトー大迫→早池峰と賢治の展示館→新花巻駅→花巻駅→花巻温泉郷 ○令和4年度実績 運行日数235日(運行台数320台)、乗車人数1,006人</p> <p>3. 団体旅行貸切バスツアー支援事業補助金 7,470千円 団体バスツアーの誘客を図るため、市内宿泊施設に宿泊するツアーに対し、30,000円/台を補助。 (国内発着)239台+(海外発着)10台=249台を支援</p> <p>【国内発着ツアー】 ○補助要件 貸切バスを利用した市外発着のツアー ※令和2年9月に要綱を改正し、補助要件(国内発着ツアーの人数や時期)を緩和した</p> <p>【海外発着ツアー】 ○補助要件 貸切バスを利用した海外発着のツアー</p>

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174390	観光案内板整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,808	5,370		562
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	4,808	5,370		562

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	~
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

標識、案内板の不備、表示等に対する指摘と要望

事業概要

- 標識、案内板の整備 4,947千円
- 観光案内板等台帳管理システム利用料 423千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

○目的
案内標識、案内板の中には、設置から相当年数が経過したものがあるため、構造上危険なものや、路線の変更、施設の改廃等により表示内容の修正が必要なものが相当数発生している。この状況を改善するため、今後の撤去・変更・新設を行うため、令和3年度に作成した台帳をもとに順次整備を行う。

- 課題
- ・表示内容が不正確
 - ・案内施設名及び外国人
 - ・連続性の問題
 - ・老朽化の問題
 - ・文字サイズの不統一

○事業手法
観光課所管施設の台帳整備及び最新システムの導入により現状確認→案内標識の整備計画

- <整備計画の優先順位>
- ・老朽化により危険なもの
 - ・字の薄れによる判読困難なもの
 - ・施設名称変更による不正確なもの
 - ・多言語化が必要なもの

- ⇒①案内標識の撤去・変更・新設等
②路線変更、施設改廃による整備計画の見直し

- 【R4年度】
- 観光案内標識等整備業務委託料 4,947千円
撤去9基、板修繕7基、据え直し2基、補強1基 合計19基
 - ゼンリン住宅地図L G W A N利用料 423千円